

各国代表の情報を中心に世界中のラグビーシーンをお届けします。

🔍 サイト内検索

▼ ワールドカップ ▼ 日本代表 ▼ 各国代表 ▼ 国内 ▼ 海外 ▼ セブンズ ▼ 女子 ▼ コラム ▼ その他

HOME > 日本代表 >

「JAPAN TALENT SQUAD」練習を公開。一般公募から参加の大鶴誠【京大／SO】「速く動いて考える」トレーニングに手応え。

「リポビタンDチャレンジカップ2026」JAPAN XV vs マオリ・オールブラックスまで

日本代表 2026.02.24

X

Facebook

LINE

「JAPAN TALENT SQUAD」練習を公開。一般公募から参加の大鶴誠【京大／SO】「速く動いて考える」トレーニングに手応え。

[編集部]

【キーワード】 [U23日本代表](#) , [JTS2026](#)



パスを放つ大鶴誠（撮影：木村大輔）

日本代表選手の育成加速を目的とした「JAPAN TALENT SQUADプログラム2026」（JTS）の2月23日の練習が報道陣に公開された。

今年で3回目となるJTSプログラムは、2月10～17日にかけておこなわれたキャンプ1のスケジュールを消化。23～28日のキャンプ2の初日練習にはトレーニングスコッドを含む34名が参加した。

この日の練習はFW・BKのユニットセッションからスタート。15対15の実戦形式の練習ではエー・ジョーンズHCが次々とシチュエーションをコールし、ボールが供給される中で攻防が展開。ランジョンのスピードを養うトレーニングがおこなわれていた。

今後は3月9～14日のキャンプ3終了後にプログラム対象選手からU23日本代表を編成。4月1日まるオーストラリア遠征でランドウィックなど地元チームと戦い、成長を目指す。

試合日程

2026年6月27日（土）

【男子国際ナショナルマ
■リポビタンDチャレンジカ
・19:05 JAPAN XV vs マオリ・
ブラックス
@パロマ瑞穂スタジアム（愛

» 他の日程

試合結果

2026年6月7日（日）

【リーグワン】
▽プレーオフ決勝
・神戸S 22-13 S東京ベイ

» 他の結果

📄 ニュース
記事を読む

ネーションズチャンピオンシップ



NZ代表オールブラックスがネーションズ
チャンピオンシップのスコッド34名を発...

各国代表の情報を中心に世界中のラグビーシーンをお届けします。

🔍 サイト内検索

- ▼ ワールドカップ
- ▼ 日本代表
- ▼ 各国代表
- ▼ 国内
- ▼ 海外
- ▼ セブンズ
- ▼ 女子
- ▼ コラム
- ▼ その他



「個々の選手の練習に臨む姿勢はとても良い。体の状態も良い選手ばかりなので、ここから2か月の練習やメニューで、どれだけ国際レベルに引き上げられるか見ていきたいと思います」

今回のスコッドは自薦による一般公募から選出されたプレーヤーが参加している。そのうちの一人、SO大鶴誠（おおつる・じょう）については「いきいきとした10番。ランニングも良いスペースに対する理解がすごくある。そして（京大在学中で）とてもインテリジェントな選手です。チームにも良く溶け込んでいます」と印象を語った。

ラグビーをしていた父から1歳の誕生日にもらったプレゼントはラグビーボールとジャージーだった。「ボールといえば楕円球なんだと教えられて、ラグビーの英才教育を受けて育ってきた」と語る大鶴は、灘高から京都大学医学部医学科に進学した秀才だ。関西大学Bリーグの京大で、来季は新チームの主将を任される。

「小さい頃から夢だった日本代表」へのチャンスが広がるJTSの公募では、ハングリー精神と成長への意欲をアピールした。高い強度とスピードを誇るスコッドでのトレーニングに慣れてきたいま「SOで指示するポジションなので、人より速く動いて考えて。段々と自分の持ち味であるランも出せてきた」と手応えを示す。

将来的には様々な進路への可能性が広がるが、「自分自身の今の目標はU23日本代表に入ること、オーストラリアに行くこと、ただ一つだと思っています」と目の前にフォーカスする。

「それ以上の先のことは、どっちにしろ選ばれてからしか始まらないだろうし、ここ（JTS）は自分にとって大きなチャンスだし試練だと思って、キャンプを本気でやっていきたいと思っています」

世界を見据えた若きプレーヤーたちのレベルアップに向けたハードワークは続く。

- 3 南アフリカ代表“スプリングボクス”がネーションズカップのスコッド46名、セブンズ所属は9名
- 4 [ブラックラムズ・中樫 復帰へ広げるキャパ](#)
- 5 「ベストなコンディションバーワンに」。日本晴斗の理想像とは

ラグビーマガジンのご案内



記事を読む